



ウェルビー

2016年10月 第28号

紀和病院主催の夏祭り「真夏の祭典!!紀和カーニバル」
8月20日、開催しました。



地域の皆様、ご協賛いただいた皆様のご協力により今年も無事に開催できました。当日は雨の予報でしたが、天候にも恵まれ、多くの方がご来場くださいました。地域の方だけでなく、入院中の患者さんもお家族の方と一緒にきてくださいました。ありがとうございます。

今年は新たな催しとしてステージイベントを企画し、浦部陽介さんによる弾き語りと浴衣甚平コンテストを行いました。少し恥ずかしそうにステージで浴衣を披露してくれる子どもたちが印象的でした。

いつもは駐車場の会場も提灯で華やかに飾りつけられて、夏ならではの楽しいイベントとなりました。

来年の夏も皆さんに楽しんでいただける夏祭りを開催したいと思います。スタッフ一同感謝申し上げます。

イベントの様子はホームページに掲載しています。是非ご覧下さい。



医療法人南労会
紀和病院

〒648-0085

和歌山県橋本市岸上 18-1

TEL.0736-33-5000

E-mail: info@nanroukai.or.jp

http://www.nanroukai.or.jp

365日 年中無休救急体制

●理事長/佐藤雅司

●院長/西口孝

●診療科目

○内科 ○呼吸器内科 ○消化器内科

○循環器内科 ○糖尿病・代謝内科

○人工透析内科 ○内視鏡内科

○外科 ○消化器外科 ○脳神経外科

○整形外科 ○乳腺外科 ○静脈外科

○皮膚科 ○神経内科 ○疼痛緩和内科

○麻酔科 ○放射線科

○リハビリテーション科

も

く

じ

■健康診断の特集

■第5回乳がんのちプロジェクト市民公開講座
「inochi 大切な人の『想い』とともに・・・」

■緩和ケア病棟見学会

「今日を素晴らしく生きる」

■～野の花のささやきを秋風にのせて～
心に沁み入るテターコンサート

■新任医師の紹介

■連携室便り 地域の架け橋

健康診断はもう常識！！

～あなたの未来を左右する健康診断があります～

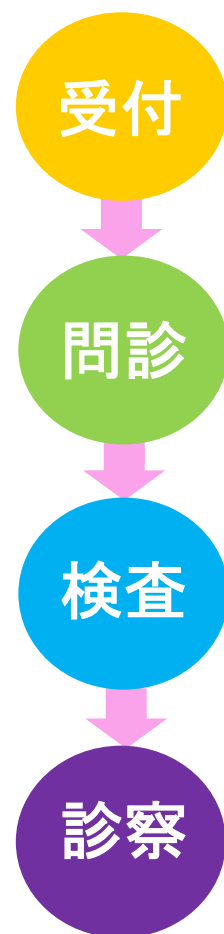
あなたが大切にしたい人の中に、
あなた自身は入っていますか？

年に一度は健康診断を受けましょう

現代の社会や毎日の生活は慌ただしすぎます。心や体と対話する間もなく、日々に追われていませんか？健康診断を受けるべきだとわかっていても、「忙しいから」「自分は大丈夫」「自分は健康だ」と先延ばしになっていませんか？「自分の体は自分が一番よく知っている！」と思っただけでも、専門家による健康診断で、思わぬ病気が発見されることもあります。自分では気づかないうちに病気が進行している場合もあります。特に生活習慣病の多くは、自覚症状がほとんどないのが特徴です。「具合が悪くなったら病院に行くからいい」と考えられている人もいますが、その段階では病気がほとんどないのが特徴です。ことも少なくありません。健康診断や人間ドックは、そんな自覚症状のない段階で早期に気づくことができます。また自分自身の体の状態をよく知り、生活習慣を見直すことで、病気を予防し、健康づくりに活かす大切な手になります。見えない健康だからこそ、目で確かめる医療があります。



健診の流れ



次の項目に該当される方は、健康診断の受診をおすすめいたします。

- 40歳をすぎた方
- 飲酒の機会が多い方
- 血縁者にがん・脳卒中・心臓病などになった人がいる方
- 一年以上人間ドック等を受診していない方
- 肥満またはその傾向がある方

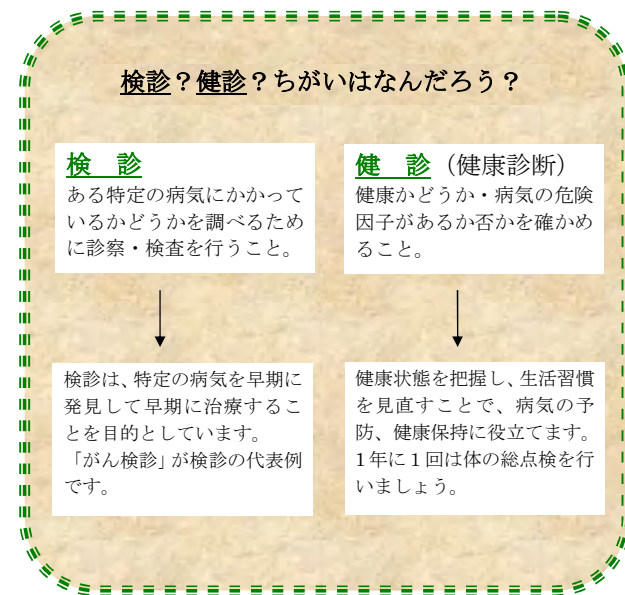
○紀和病院1階受付にて保険証の確認をさせていただきます。
○診察券をお持ちの方は必ずご持参下さい。

人間ドック（総合健診）への誘い

日本人死亡疾患の約70%近くが、ガン、心臓病、脳卒中などの三大生活習慣病で占められています。これらの病気は、特有の症状が少なく、人間ドックを受けて発見されない限り診断処置が遅くなります。自覚症状のないときからの早期発見が人間ドックの必要性の第一です。人間ドックを受けない人もいます。自信過剰な人は「自分には病気がない自覚症状もない、健康だから人間ドックは必要ない」などと言います。症状が明白でないのが生活習慣病の初期ですから、自覚症状が出てからでは遅くなります。他方、健診心配性の人は「ドックで異常が見つかつたらどうしよう」という人で、見つかつてもない病気を恐れます。検査そのものは、危険、苦痛はほとんどなく、正確に結果を出すことを基本としていますので心配無用です。たとえ異常が発見されても早期対処が可能ですし、治療が必要な事は少なく、日常生活の支障はありません。より安心を得られるために受診をする位の気持ちで十分です。人間ドックの必要性の第二は病気になるように予防し、健康作りの手伝いをする事です。生活習慣病は生活様式の歪みで発生します。人間ドックは、その歪みの有無を調べ、予防のため、その歪みを直す機会を作る役割を担います。人生80歳台の我国では、単なる長生きでなく、健康な体を基にQOL（生活の質）の高い人生を送りたいものです。



健診医 藤原 駿朗



○お申込みについて

紀和健康管理センターまで、お電話ください。

ご相談の上、日程を設定させていただきます。
後程、ご案内・検査容器など送付いたします。
予約受付時間：午後1時～午後5時まで（平日のみ）

TEL：0736-33-5160（直通）

TEL：0736-33-5000（代表）

◆紀和病院（代表）におかけの時は、「健康管理センター」もしくは「人間ドックの申込み」とお伝え下さい。

当センターでは下記の健康診断を実施しています。

- ・人間ドック
- ・肺ドック
- ・総合ドック
- ・全国健康保健協会生活習慣病予防健診
- ・医師会ドック
- ・市町村がん検診
- ・脳ドック
- ・心臓ドック
- ・事業所健診・特殊健診
- ・乳がん検診
- ・特定健診

詳しい内容・金額などはお電話でお問合せいただくか、紀和病院ホームページ <http://www.nanroukai.or.jp> をご参照ください。



第5回乳がんいのちプロジェクト 市民公開講座
〈一部 講演会〉

いのち inochi

大切な人の「想い」とともに…

かんさい情報ネットの「コキヤスター」

「112 日間のママ」著者

清水 健さん



10/29 (土)

橋本市産業文化会館 **アザレア**

開場 13:30、開演 14:00

いずれも予約不要

入場無料

世界遺産 **慈尊院**

点灯式 17:30~

点灯 17:30~19:00 * 荒天中止

清水健さんと一緒にろうそくを

灯しませんか！

小学館から発売された著書「112 日間のママ」へのサイン会も予定しています。*一部 講演会（会場 アザレア）にて書籍販売あり

紀和プレストセンター
梅村定司

「誤解だらけの
乳がん&乳がん検診」

紀和病院 緩和ケア病棟見学会

10/30 (日) 開催時間/12:00~16:00

10/31 (月)・11/1 (火) 開催時間/11:00~16:00

緩和ケア病棟は「共に生きる場所」

~ここにはたくさんの笑顔があります~

イベントの内容

- 廣岡医師によるミニ講演会 & 緩和ケア相談 10月30日(日)14:00~14:30
- 病棟案内
- 病棟写真展示
- 秋のひだまりカフェ
- 栄養補助食品の試食
- 栄養相談 10月31日(月)・11月1日(火)
- おくすり相談 10月31日(月)・11月1日(火)
- ボランティアさんによるマッサージ
- ちびっこ縁日(大人の方も楽しんでいただけます)



参加
無料



新任医師の紹介

はやかわ たかし
早川 敬 医師

所属診療科：内科（人工透析内科）

【略歴】関西医科大学（平成4年卒）

平成28年8月から赴任となりました。
現在、透析を受けておられる患者さん
の回診を行っております。

今まで学んできた知識を総動員して、治療にあたらせて頂きます。
といっても堅苦しい人間ではありませんので、
お気軽にご相談下されば幸いです。



～野の花のささやきを秋風にのせて～
心に沁み入るチターコンサート

チター演奏

日本チター協会会長 内藤敏子 氏

日 時：2016年10月31日（月）

【開場】13:00 【開演】13:30

場 所：紀和病院4階ウェルビーホール

主 催：日本チター協会橋本支部

医療法人南労会 紀和病院

問合せ：日本チター協会橋本支部 西川

電話：090-5469-7452

紀和病院 経営広報企画室 近藤

電話：0736-33-5000

美しい音色に包まれる癒しの時間♪
是非、お越し下さい。



地域連携室便り



● 当院の特色・目指すもの

当院の特徴は3つで、①ペインクリニック（痛みの治療）と②在宅医療（訪問診療）と③一般内科（かかりつけ）です。

午前中の外来のペインクリニック（痛みの治療）では整形疾患を始め幅広い「痛み」に対する治療・診断・指導を行っていて県内でも数箇所の珍しい診療科です。

午後は毎日在宅医療（訪問診療）をしています。基本的には事前に相談して頂いている高齢の患者様や癌・脳血管疾患等の患者様の自宅・施設を訪問します。普段より訪問している患者様の急変時等には基本的に24時間対応をしています。

また地域のかかりつけ医として、専門性なく広く内科疾患全般の外来診療をしています。専門的な診察が必要な場合は、紀和病院で専門医の先生に1～2回受診して頂き、検査・診察をして頂くことも多く、それがかえって患者様の安心に繋がっている印象はあります。最近では内科通院の外来の高齢患者様が通院困難となり往診させて頂く場合も多いです。

● 紀和病院との連携

約10年となりますが、開業前の数年間を紀和病院で勤務させて頂きました。その時は専門の手術麻酔だけでなく、緩和ケアの病棟や救急車の対応もさせて頂いていましたが、専門的な疑問を院内の先生に相談させて頂くと、皆さんとても親切に教えて下さいました。また開業して随分経った今でも患者様の事を相談させて頂くと、とても丁寧に対応してくださっています。スムーズな対応は外来でも訪問でも特に状態の悪い患者様にはとても大切なので、大変感謝をしております。



院長 岡本 一仁 先生

● 紀和病院に望むこと

今の時代の病院はどうしてもその場のみ（疾患のみ）の対応で終わってしまいがちです。この病院には長く勤務されている先生方が多く、何度も入院をお願いしたりして顔見知りとなって頂いている患者様も随分増えてきました。これは全くの私見的希望ではありますが、紀和病院様には、専門的な治療もしっかりとしながら個人的な背景等も大事にする「かかりつけ病院」であって頂ければ・・・と思っている次第です。



*本文は院長 岡本 一仁 先生よりご寄稿いただきました。